

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒130 東京都新宿区
愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者
渡辺 孝一

中郵便振替口座中
00150-4-15754
中銀行口座中
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

山梨でボランティア団体 結成へ

骨髄バンク推進活動は全国協議会加盟団体を中心に全国各地で進んでいます。地域的に運動体のない県はわずかになってい

このコンサートは三月十三日から十六日までと、四月七・八日の六日間にわたり県内各地で開かれるもので、東京、神奈川、静岡の全国協議会加盟団体の全面的なバックアップで、キャンペーンを展開しました。各会場では骨髄移植と骨髄バンクに関するトークを折り込んでアピールしました。会場に集まった方

全国協議会の 要望事項

全国協議会では、左記の内容で要望書を提出することになりました。

財団・日赤あて

今年一月、山梨県内に住む白血病少女がドナーを求めていると地元新聞が報じました。その記事によると、骨髄バンク以外の経路で提供者(パーソナル・ドナー)を募っているというも

このコンサート・フローリアンのコンサートの一方、ボランティア団体「山梨県骨髄バンクを推進する会」が結成されている

現行の五十歳から五歳程度引き上げる(ただし、登録受付年齢は現行の五十歳のままとする)。

内閣総理・厚生大臣あて

① 多数床の無菌病棟を保有する血液免疫疾患治療センターを設立し、急増するエイズ治療や骨髄移植に対応できる医療体制を確立して

② 急激に増大している骨髄採取センターの設置など必要な措置を早急に講じてください。

③ 骨髄移植を担当する移植医が激減しています。その他看護婦の確保を始め、骨髄移植周辺医療のスタッフを確保するため、必要な措置を講じてください。

④ 骨髄移植関連の診療保険点数をさらに充分な額に引き上げてください。

佐藤きち子基金から 第1号の給付

佐藤きち子患者支援基金は東京の会から全国協議会に運営を移管されましたが、この第一

① ハガキでの申込をしながらデータセンターで登録を済ませていない五万三千余人の方を早急に分類整理して下さい。

② 骨髄バンクニュースなどを骨髄バンク事業の情報が届いていない右記の方々に、早急に情報提供して下さい。

最新医療情報

移植成績のカギ HLAクラスIマッチの重要性

去る二月二十四日、厚生省骨髄移植調査研究事業費による公開シンポジウムが東京で開催されました。この中で毎月健彦氏(九大生医研)により「非血縁者間骨髄移植におけるHLAクラスIマッチングの重要性」と題する衝撃的な報告がありました。

これは骨髄バンクを介して移植が行われた三百六十三組の患者とドナーの保存検体により、HLA型をDNAレベルまで詳しく調べ、移植成績を検討したものです。骨髄バンクによる移植はHLA型が全一致した患者とドナーのペアによって実施されていますが、これまでの血清学的な検査より詳しいDNAレベルの検査ではミスマッチがあることがわかりました。特にクラスI(A座・B座)のDNA

この冊子を手にした時、昨年七月、初めて全国協議会に出席し、各地区の骨髄バンク推進運動への意気込みを感じるとともに、その中でこの冊子の創刊号の話が出ていたことを思い出し、実際に手にして大変感動しました。

海部会長の巻頭言、骨髄移植の草分けの歴史、そして骨髄バンクの設立、患者さん、ドナーになって下さった人、尊いのをそれぞれの立場で支えて下さっている沢山の方々。模索と研究、奔走の中の骨髄バンクに携わって下さる人達の思いが実によく伝わってきました。その中には無念の思いも数知れないと思う。どれほどの人がこれまでに、そして今この時も沢山の涙を流していることでしょう。

付の申請があったものです。申請内容を慎重に検討した結果、八人の基金運営委員全員の賛成をもって給付が決定しました。

大きな影響があることが指摘され、むしろこれまで重要とされたクラスIIの適合はあまり成績に関与していないらしいとの報告です。

この報告を受け、全国協議会ではこれまで行われていなかったクラスIのDNAタイプピンクを三次検査で実施するよう財団と厚生省に要望書を提出することを代表者会議で決定しました。

なお、基金への募金は専用郵便振替口座までお願いします。番号・〇〇一六〇一八三九七二四

〈投稿〉 全てのページに 命の重さを感じた —「骨髄バンク」創刊号を読んで—

私はこの冊子の冒頭から後書きに至る全てのページにただただ「いのち」の重さを感じ、いのちの大切さを、素晴らしさを知っている人の情熱が国という大きな山を動かしている事に心を熱くしたのです。

この冊子を手にした時、昨年七月、初めて全国協議会に出席し、各地区の骨髄バンク推進運動への意気込みを感じるとともに、その中でこの冊子の創刊号の話が出ていたことを思い出し、実際に手にして大変感動しました。

海部会長の巻頭言、骨髄移植の草分けの歴史、そして骨髄バンクの設立、患者さん、ドナーになって下さった人、尊いのをそれぞれの立場で支えて下さっている沢山の方々。模索と研究、奔走の中の骨髄バンクに携わって下さる人達の思いが実によく伝わってきました。その中には無念の思いも数知れないと思う。どれほどの人がこれまでに、そして今この時も沢山の涙を流していることでしょう。

大きな影響があることが指摘され、むしろこれまで重要とされたクラスIIの適合はあまり成績に関与していないらしいとの報告です。

この報告を受け、全国協議会ではこれまで行われていなかったクラスIのDNAタイプピンクを三次検査で実施するよう財団と厚生省に要望書を提出することを代表者会議で決定しました。

骨髄バンクの最新情報をお知らせする——骨髄バンクNOW

★「政府広報テレビCM—蔵間さん編」放映
2月14日～3月12日まで、政府広報テレビスポットCM(15秒、30秒)が、定例の政府広報番組枠の他に全国各民放のご協力を得、1,000回以上放映されました。

財団へは放映直後より、通常の2～5倍(1,000件～300件)の登録問い合わせ電話をいただきました。事務局では全国骨髄バンク推進連絡協議会のご協力を得て千葉、東京、埼玉、神奈川のボランティア各位に電話受付業務をお手伝いいただいています。

平日は9:00～18:30まで、休祭日は9:00～17:00まで開設しています。



★骨髄バンクへのお問い合わせは★
フリーダイヤル0120-377-465

第7回全国骨髄バンク推進連絡協議会 総会 全国骨髄バンクボランティア苦小牧大会96

開催地 苦小牧市
開催日 1996年5月31日(金)～6月5日(水)
① 5月31日(金)～6月5日(水)
あやちゃんの贈り物展
場所 榊丸井今井苦小牧支店
時間 10時～19時
② 6月1日(土)
苦小牧市民会館大ホール
全国骨髄バンクボランティア苦小牧大会96
10時30分～12時45分
講師 岸川悦子氏
●1996年(第7回)全国骨髄バンク推進連絡協議会
総会 14時30分～17時
懇親会 18時～20時
③ 6月2日(日)
親子映画会 10時～12時
金色のくじら
5等になりたい

宮地理江(福岡)

各地のたより

各地のたよりを
写真添えて
お寄せ下さい。

和歌山

「ある心臓外科医と白血球との闘い」の購読を

一月二十二日和歌山で一人の患者さんが十三年間の闘いの末お亡くなりになりました。初版の完売を見届けられたとは言え、彼が届けたかったメッセージをより多くの方々に届けたいと思います。発病以来13年お薬だけで頑張ってきた姿は今現在提供者を待っている方々の励みにしていただけるのではないのでしょうか。

購入は
和歌山市七番町二十七番地
和歌山県立医科大学
佐藤 守男 様

鹿児島

フォーラム「命のかけはし」開催

「白血病」「骨髄移植」「骨髄バンク」という文字や言葉だけでは、たくさんの人を集めることはとても困難です。フォーラム開催にあたり私達が考えた作戦は、まず子供たちにも解る話をして、そして付き添って来てくれたお母さん達にドナー登録



励まそう鹿児島キャンペーン
県推進連絡会議



愛媛

映画「金色のクジラ」の製作を励ます集い

去る三月十六日、松山市の愛媛県身体障害者福祉センターで、「映画「金色のクジラ」の製作を励ます集い」が開かれました。主催者は自主上映運動のために

岐阜

駅伝大会で骨髄バンクをPR

二月二十五日の日曜日に、大垣市を中心に中日西濃駅伝競争大会が百十チームの参加で行わ



駅伝大会で骨髄バンクをPR

独自に組織された「映画「金色のクジラ」を作る愛媛の会」ですが、愛媛「骨髄バンク」を支援する会の総会に続けて同じ会場で開催し、実質的には両団体の共催の形になりました。お招きした原作者岸川悦子さんの「命をみつめて書き続けてきたもの」と題する講演がメインでしたが、戦争や闘病の体験を踏まえた切々と心に迫るお話に、聴衆の中にはハンカチで目頭を押さえる人も多数ありました。残念なのは、事前の宣伝不足のため、主催者・報道関係者を含めて五十名程度の人が集まらなかったことです。二度、三度と同じような集いを開いて、映画の完成までに運動の輪を大きく広げてゆきたいものです。



関東

湾岸セミナー冬合宿

三月十六・十七日、サンピア多摩でボランティアセミナー冬合宿が開かれ、神奈川・千葉・埼玉・東京から三十人が参加しました。初日は都立駒込病院の後藤千春さん、警井静江さん、東海大学病院の山川恵里佳さんからソーシャルワーカーの仕事について講演していただきました。患者さんの悩みを聞いたり退院後の復帰の手伝いをしたり医師との橋渡しをしたり、更には患者さんの入院の間、家族の滞在するアパートの手配や家具の調達等、幅広い仕事の内容を伺いました。

第5回 代表者会議報告

三月十七日、第五回代表者会議が文京区勤労福祉会館にて、海部会長出席のもと、開催されました。主な決定事項は次の通りです。

- 各地で好評のあやちゃんの贈り物展の展示パネルをもう一組追加作成。これまで開催希望地が重なることもありましたが、今後もより多くの方に感動を与えるでしょう。
- 全国協議会ニュース縮刷版作成について、今日までの各地の動き、過去の歴史など、これから運動をはじめる方への情報提供に役立つよう、全国協議会ニュースをA4サイズに縮小した冊子を作成することになりました。
- 二年前に作成した「活動マニュアル」の改訂が必要。

●今後の日程
四月二十一日 運営委員会
五月十九日
七月十四日

心からのご寄付をありがとうございました

2月21日～3月20日まで

ライオンズクラブ国際協会330-A地区	現金	500,000
服部純一	現金	10,000
匿名	現金	1,000,000
山本潤	現金	10,000
加藤卓	切手	315
岩下キミ子	切手	711
岐阜県立岐阜盲学校保健医療科	切手	4,737
河敬世	現金	35,000
森島泰雄	現金	50,000
井代順子	現金	6,000
カタギリカタシ	現金	1,000
姫路地区骨髄バンク推進センター	現金	30,000
匿名	現金	400,000
山崎久江	現金	5,000
稲次康三	現金	2,000
日新火災海上保険株式会社企画部	切手	47,698
根本千佐子	現金	5,000
鈴木秀平	現金	10,000
大船渡西ロータリークラブ	現金	31,000
広津美重子	切手	1,137
高橋基	現金	50,000
伊勢原ライオンズクラブ	現金	300,000
阿原一良	現金	10,000

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

フジテレビを見ても見ぬふじは やめましょう

え・きせひろゆき
いっしょうけんめい
ぼくがんばる

那覇出版社
〒901-11
沖縄県那覇市南風原町字兼城515-5
電話 098(888)2151

集いっしょうけんめい ぼくがんばる

え・きせひろゆき
いっしょうけんめい
ぼくがんばる

那覇出版社
〒901-11
沖縄県那覇市南風原町字兼城515-5
電話 098(888)2151